

農事組合法人 菖蒲生産組合（新潟県上越市）

～地域の夢（目標）の実現にむけて～

◆背景

新潟県上越市の南東部に位置する菖蒲地区は、市の中心部から約40km離れた豪雪地帯であり、農地は標高約350～500mに点在した指定棚田地域である。人口減少と高齢化が進んだことで、平成15年に地域ビジョンを策定した。平成19年には、農地を守るため住民有志で設立した任意の生産組合を法人化し、「農事組合法人菖蒲生産組合」が誕生した。平成23年の長野県北部地震では甚大な被害に遭い、農地保全と農村地域の維持の必要性が一層高まったため、平成25年に地域ビジョンの見直しを実施。国登録有形文化財となった地域のシンボル「飯田邸」を核として、地域の夢の実現に向けて法人が中心となって様々な取組を展開している。



農事組合法人菖蒲生産組合

◆取組概要

① 農業生産面

当法人は、高齢化などで離農する農家の田を耕作し農地を維持するとともに、高原ならではの温度差を利用してカリフラワーなどを栽培し、地域特性を活かした営農を行っている。また、農業用ドローンやラジコン草刈り機などを積極的に取り入れ、法人に就業した若者がオペレーターを担うことで、作業の効率化と若者の農業への関心を高めているほか、地域の小・中学生を対象に農作業体験を実施し、高校生や大学生にはアルバイト形式で農作業に従事してもらうことで後継者の育成に取り組んでいる。

② 生活・環境整備面

国の登録有形文化財に指定された茅葺き屋根の古民家「飯田邸」を活用して農村レストランや農泊、そば祭りなどのイベントを開催しており、都市住民や外国からの交流人口増加が図られている。また、法人が中心となって、高齢者が自由に集まれる「お茶飲み場」の開設や買い物外出支援、高齢者宅の冬期間の除排雪作業などを行っており、高齢者の生きがいづくりや生活支援に取り組んでいる。野菜作りは法人が雇用した地域の女性を中心に行われており、飯田邸を活用したカフェの運営やイベントも若者や女性が活躍する場となっている。非農家と協力して道普請と用水普請を行うほか、法人は地域内の様々な団体の事務局や会計を受け持つなど、地域内で連携して活動を行っている。

◆写真で見る団体の取組



農業用ドローンによる防除



カリフラワーの収穫



登録有形文化財「飯田邸」



農村レストラン「飯田邸」でのそば祭り



農泊の取組



高齢者の買い物外出支援